



▲吉野瀬の水深25メートル前後に船がひしめき合う
▼時合と分かればウイリー仕掛けで勝負



▲小型でも太った個体が多い
▶食いが渋いときは付けエサ仕掛けに



▲コマセカゴはライト用かFLサイズ、潮具合に応じてオモリ40~60号を使い分ける



▲▶良型のハナダイも上がった



▲▶アジの群れも回り、いいお土産になった



▲海面から10~20メートルのタナを探る



★剣崎イサキは8月末までの期間限定ターゲット

三浦半島剣崎松輪港出船 期間限定！ 気になる美味魚 剣崎沖の超うまいサキ最高潮

撮影●鈴木良和

多くの釣り人がそのおいしさを認める三浦半島剣崎沖のイサキ。今シーズンはずれしいことに6月の解禁から30〜35センチ級の良型を交えていい日はトップで40〜60尾前後釣れている。

迎える7月は真子&白子も最高潮、美味なる剣崎イサキの一番の釣り時に突入する。

ただイサキは潮の変化に敏感で、取材日のように澄んだ潮が釣り場に差し込むと食い渋ることもある。そんなときに釣果をのばすにはひと工夫が必要。例えば食いが立つときはウイリー仕掛けで手返しよく釣り、反応が悪くなったら空バりにオキアミやイカタンを付けた仕掛けでじっくり狙う。ハリスの太さ、ハリの種類にもこだわると、さらに釣果はのびていく。

(詳細は58ページ参照)



●三浦半島剣崎松輪港・棒面丸 鈴木 洋一船長